

作物統計調査

令和 7 年産水稻の作付面積及び 9 月25日現在の予想収穫量（九州）

令和 7 年産主食用米の予想収穫量は前年産に比べ 7 万 3 千トン増で
令和元年以降最高の見込み。

【調査結果の概要】

- 1 九州における 9 月25日現在の生産者が使用しているふるい目幅1.80mm、1.85mmベースの予想収穫量（主食用）※¹は71万5,800 t で、前年産に比べ 7 万2,600 t 増加と見込まれる。

※ 1 生産者が使用しているふるい目幅1.80mm、1.85mmベースのふるい上米

これは、

- ① 作付面積（主食用）が14万9,500haで、前年産に比べ 1 万1,300ha増加と見込まれることに加え、
② 9 月25日現在における九州の10 a 当たり予想収量（生産者が使用しているふるい目幅ベース）は479kgで、前年産に比べ13kg増加と見込まれるためである。

- 2 九州の作況単収指数は103と見込まれる。各県の作況単収指数は、統計表のとおりである。

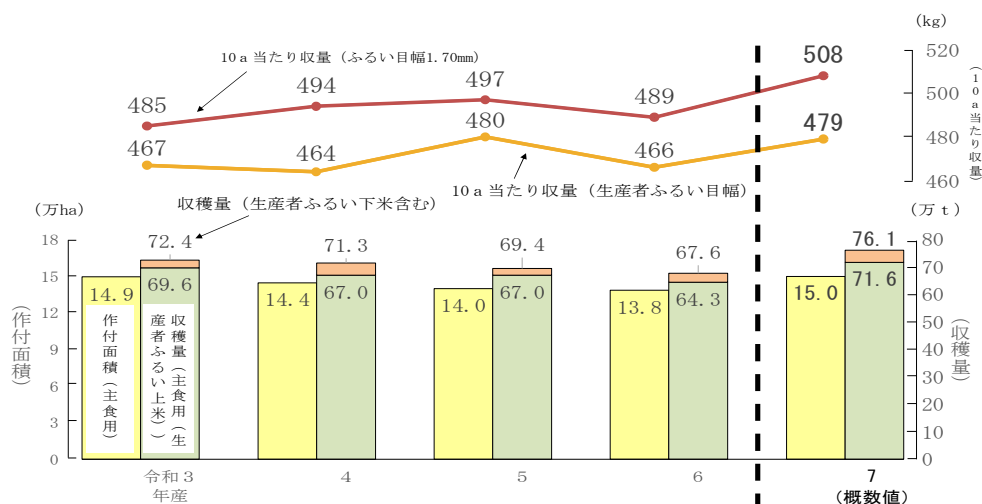
参考

9 月25日現在のふるい目幅1.70mmベースの予想収穫量（主食用）※²は76万600 t で、前年産に比べ 8 万4,600 t 増加と見込まれる。

※ 2 生産者が使用しているふるい目幅1.80mm、1.85mmベースのふるい下米を含む。

- 今回から生産者の実感に合うよう、生産者が使用しているふるい目幅 1.80mm、1.85mm 等で収穫量を公表することとし、前年産まで収穫量（主食用）として公表していたふるい目幅 1.70mm の収穫量（主食用）は、令和 7 年産以降、収穫量（主食用（生産者ふるい下米含む））と表記することとした。

図 水稻の作付面積（主食用）、10 a 当たり収量及び収穫量の推移（九州）



- 作況単収指数は、生産者が使用しているふるい目幅ベースで算出した10 a 当たり収量の前年産までの5か年中3年平均（最高、最低除く）に対する10 a 当たり収量の比率である。
- 10 a 当たり予想収量及び予想収穫量は、収穫を終えた地域では刈取り実測による結果であるが、一部収穫を終えていない地域ではもみ数等を実測し、その後の登熟については気象が平年並みに推移するものとして推定した結果である。したがって、今後の気象条件等により変動することがある。

◎累年データ

水稻の年次別推移（九州）

年 産	作 付 面 積 (青刈り面積を含む。)		生産者が使用している ふるい目幅で選別			作況 単収 指数	ふるい目幅 1.70mmで選別		
			主食用	10 a 当たり 収 量	対前年比		10 a 当たり 収 量	対前年比	収 穫 量 (主食用(生産者ふるい下米含む))
	ha	ha	kg	%	t		kg	%	t
平成27年産	198,000	166,300	467	nc	776,600	99	484	nc	806,100
28	195,500	161,300	489	105	788,100	104	507	105	817,500
29	194,500	158,700	490	100	779,400	105	510	101	811,400
30	191,800	156,100	494	101	771,400	104	512	100	800,000
令和元	191,100	155,100	418	85	647,400	87	435	85	674,300
2	189,700	153,200	404	97	617,600	84	440	101	673,300
3	187,500	149,300	467	116	696,300	100	485	110	723,800
4	185,500	144,400	464	99	669,900	101	494	102	713,200
5	183,200	139,500	480	103	669,900	107	497	101	693,800
6	181,500	138,200	466	97	643,200	104	489	98	676,000
7 (概数値)	183,300	149,500	479	103	715,800	103	508	104	760,600

資料：農林水産省統計部『作物統計』

注：1 作付面積（青刈り面積含む。）とは、青刈り面積を含めた水稻全体の作付面積である。

2 作付面積（主食用）とは、作付面積（青刈り面積を含む。）から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積を除いた面積である（5ページの【参考1】参照）。

3 生産者が使用しているふるい目幅で選別された10 a 当たり収量及び収穫量（主食用（生産者ふるい上米））は、生産者が使用しているふるい目幅で選別された玄米の重量である（令和7年産は予想）。

4 生産者が使用しているふるい目幅は、以下による。

平成27年産から令和元年産まで： 全国農業地域ごとに、過去5か年に生産者が使用したふるい目幅の分布において、大きいものから数えて9割を占めるまでの目幅である。

令和2年産以降： 都道府県ごとに、過去5か年に生産者が使用したふるい目幅の分布において、最も多い使用割合の目幅である。

都道府県	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県
ふるい目幅	1.85mm	1.85mm	1.80mm	1.85mm	1.85mm	1.80mm	1.80mm

5 作況単収指数は、10 a 当たり収量の前年産までの5か年中3年平均（最高、最低除く）に対する10 a 当たり収量の比率である。

また、平成27年産から令和元年産までの作況単収指数は1.70mmのふるい目幅で選別された玄米を基に算出し、令和2年産以降の作況単収指数は生産者が使用しているふるい目幅ベースで算出した数値である。

6 前年産まで収穫量（主食用）として公表していたふるい目幅1.70mmの収穫量（主食用）は、令和7年産以降、収穫量（主食用（生産者ふるい下米含む））と表記することとした。

7 「nc」は、計算不能であることを示している。

【調査結果】

1 作付面積

九州における令和7年産水稻の作付面積（青刈り面積を含む。）は18万3,300haで、前年産に比べ1,800ha増加が見込まれる。

また、水稻の作付面積（青刈り面積を含む。）から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積を除いた主食用作付面積は14万9,500haで、前年産に比べ1万1,300ha増加が見込まれる。

2 10a当たり予想収量（生産者が使用しているふるい目幅ベース）

9月25日現在における九州の10a当たり予想収量（生産者が使用しているふるい目幅ベース）は、479kg（前年産に比べ+13kg）と見込まれる。

これは、早期栽培では3月下旬以降の低温の影響により初期生育に遅れがみられたものの、出穂期以降おおむね天候に恵まれ生育が良好となった。普通栽培では、出穂期以降が多照で推移したことにより多くの地域で生育が良好と見込まれるためである。

各県別にみると、以下のとおりである。

福岡県は459kg（前年産に比べ+17kg）、佐賀県は501kg（同+19kg）、長崎県は474kg（同+2kg）、熊本県は491kg（同+4kg）、大分県は472kg（同+13kg）、宮崎県は483kg（同+16kg）、鹿児島県は471kg（同+17kg）と見込まれる。

3 予想収穫量（生産者が使用しているふるい目幅ベース）

主食用作付面積に10a当たり予想収量を乗じた予想収穫量（主食用（生産者ふるい上米））は71万5,800t（前年産に比べ7万2,600t増加）と見込まれる。

4 作況単収指数（生産者が使用しているふるい目幅ベース）

九州の作況単収指数は103と見込まれる。

参考

10a当たり予想収量（ふるい目幅1.70mmベース）

9月25日現在における九州の10a当たり予想収量（ふるい目幅1.70mmベース）は、508kg（前年に比べ+19kg）と見込まれる。

各県別にみると、以下のとおりである。

福岡県は498kg（前年産に比べ+31kg）、佐賀県は529kg（同+24kg）、長崎県は494kg（同+7kg）、熊本県は526kg（同+10kg）、大分県は508kg（同+17kg）、宮崎県は496kg（同+15kg）、鹿児島県は488kg（同+18kg）と見込まれる。

予想収穫量（主食用（生産者ふるい下米含む））（ふるい目幅1.70mmベース）

主食用作付面積に10a当たり予想収量（ふるい目幅1.70mmベース）を乗じた予想収穫量（主食用（生産者ふるい下米含む））は76万600t（前年産に比べ8万4,600t増加）と見込まれる。

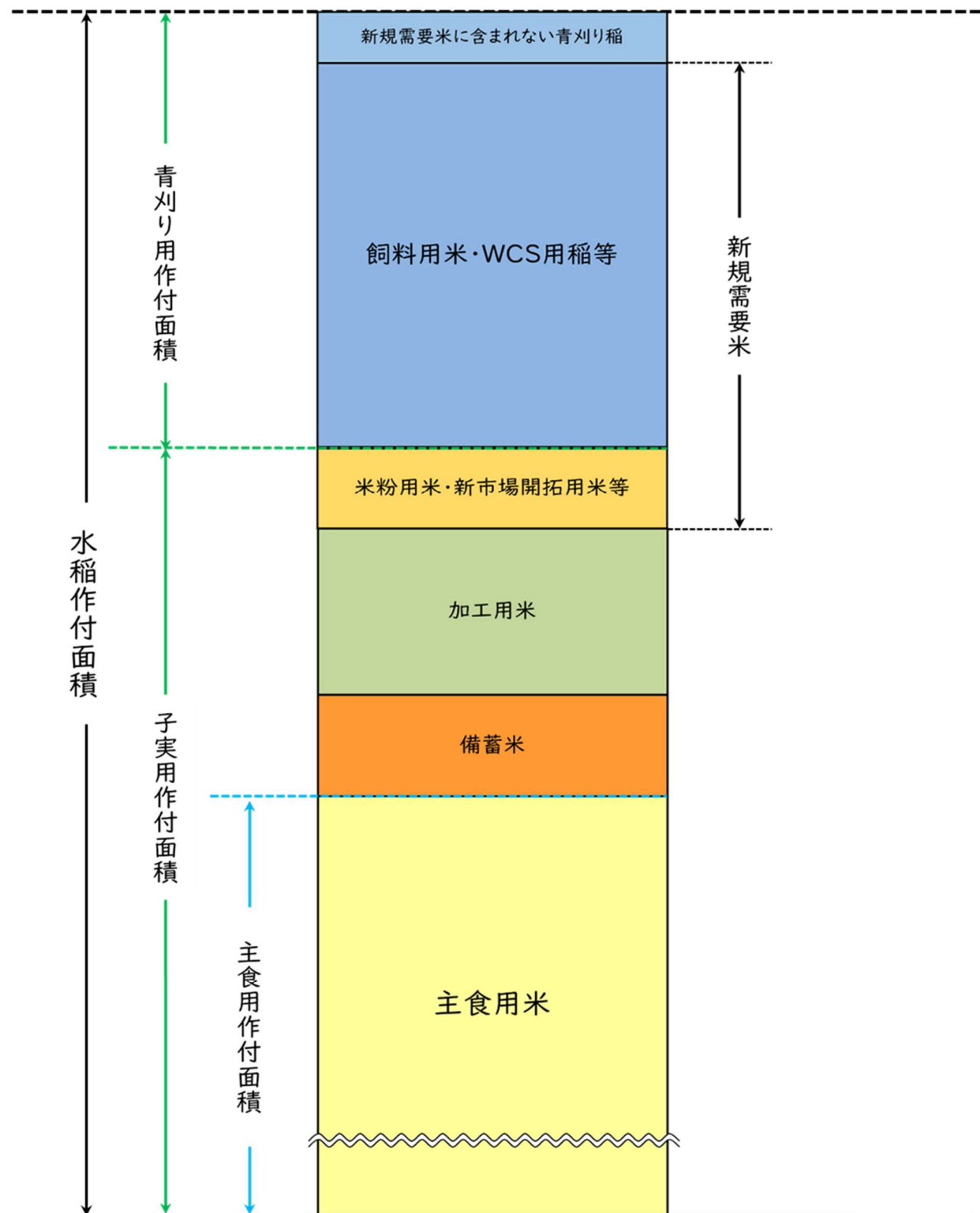
表 令和7年産水稻の作付面積（主食用）及び9月25日現在の予想収穫量
（九州）

区分		作付面積（主食用）			生産者が使用しているふるい目幅で選別						作況 単収 指数
		実 数 ①	前年産との比較		10 a 当たり 予想収量		予想収穫量 （主食用（生産者ふるい上米））				
					実 数 ②	前年産との 比較	実 数 ③＝①×②	前年産との比較			
			対	差				対 比	対	差	
		ha	ha	%	kg	%	t	t	%		
九	州	149,500	11,300	108	479	103	715,800	72,600	111	103	
福	岡	34,500	2,300	107	459	104	158,400	16,100	111	102	
佐	賀	23,700	1,700	108	501	104	118,700	12,700	112	104	
長	崎	9,460	100	101	474	100	44,800	600	101	103	
熊	本	31,900	3,100	111	491	101	156,600	16,300	112	104	
大	分	18,900	1,100	106	472	103	89,200	7,500	109	104	
宮	崎	13,500	1,100	109	483	103	65,200	7,300	113	102	
うち早期栽培		…	nc	nc	482	105	…	nc	nc	102	
うち普通栽培		…	nc	nc	484	103	…	nc	nc	103	
鹿	児 島	17,600	2,000	113	471	104	82,900	12,100	117	102	
うち早期栽培		…	nc	nc	466	107	…	nc	nc	104	
うち普通栽培		…	nc	nc	472	103	…	nc	nc	102	

区分	ふるい目幅1.70mmで選別				
	10 a 当たり 予想収量		予想収穫量 （主食用（生産者ふるい下米含む））		
	実 数 ④	前年産との 比較	実 数 ⑤＝①×④	前年産との比較	
				対 差	対 比
	kg	%	t	t	%
九 州	508	104	760,600	84,600	113
福 岡	498	107	171,800	21,400	114
佐 賀	529	105	125,400	14,300	113
長 崎	494	101	46,700	1,100	102
熊 本	526	102	167,800	19,200	113
大 分	508	103	96,000	8,600	110
宮 崎	496	103	67,000	7,400	112
うち早期栽培	488	104	…	nc	nc
うち普通栽培	500	103	…	nc	nc
鹿 児 島	488	104	85,900	12,600	117
うち早期栽培	474	106	…	nc	nc
うち普通栽培	492	103	…	nc	nc

- 注：1 作付面積（主食用）（①）とは、青刈り面積を含めた水稻全体の作付面積から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積を除いた面積である。
- 2 生産者が使用しているふるい目幅で選別された10a当たり予想収量（②）及び予想収穫量（主食用（生産者ふるい上米））（③）は、生産者が使用しているふるい目幅で選別された玄米の重量である。
- 3 生産者が使用しているふるい目幅で選別の10a当たり予想収量（②）については、各県の過去5か年に生産者が使用したふるい目幅の分布において、最も多い使用割合の目幅で選別された玄米を基に算出した数値である。
- 4 10a当たり予想収量（④）及び予想収穫量（主食用（生産者ふるい下米含む））（⑤）は、1.70mmのふるい目幅で選別された玄米の重量である。
- 5 予想収穫量（主食用（生産者ふるい上米））（③）及び予想収穫量（主食用（生産者ふるい下米含む））（⑤）については、各県の積上げ値であるため、表頭の計算は一致しない場合がある。
- 6 作況単収指数は、生産者が使用しているふるい目幅ベースで算出した10a当たり予想収量の前年産までの5か年中3年平均（最高、最低除く）に対する10a当たり収量の比率である。
- 7 「nc」は、計算不能であることを示している。

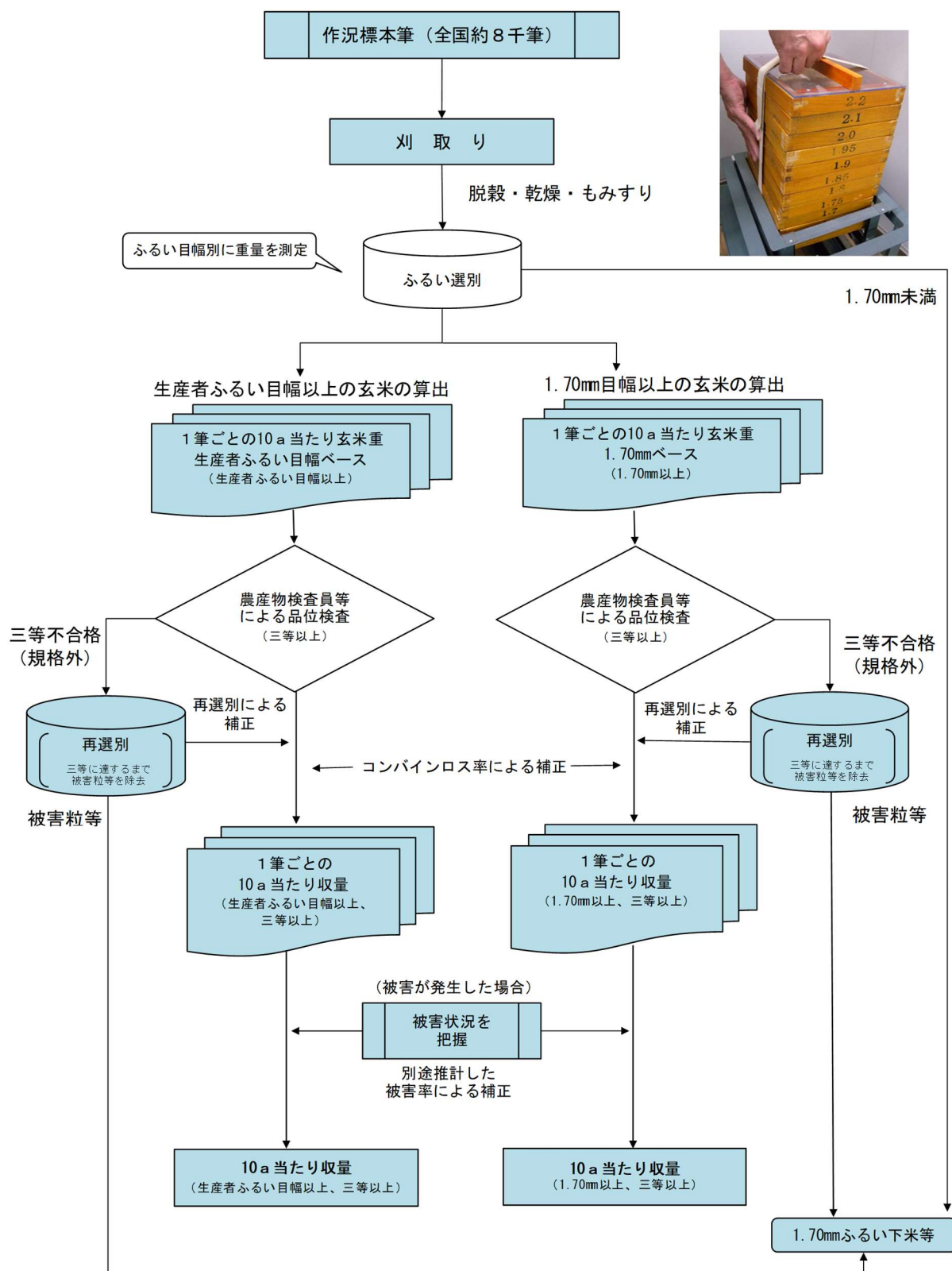
水稻作付面積の概念図



【参考 2】

刈取り調査における 10 a 当たり収量の算出方法

作況標本筆（【参考 3】参照）ごとに一定面積の稲を刈取り、農産物規格規程に定める三等の品位以上に相当するよう選別を行い、その重さを計測し、コンバインロス率及び被害率による補正を行い 10 a 当たり収量を算出している（下図参照）。

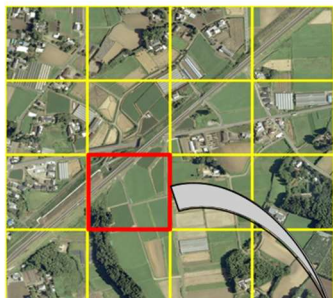


【参考 3】

作況標本筆^{ふで}とは

収穫量の実測調査の対象とした作況標本筆（1枚のほ場を筆と呼ぶ。）^{ふで}は、各都道府県の水稲の状況が把握できるように、標本理論に基づいて次のように各地で選定し（全国で約8千筆）調査している。

全国の全ての土地
（母集団）



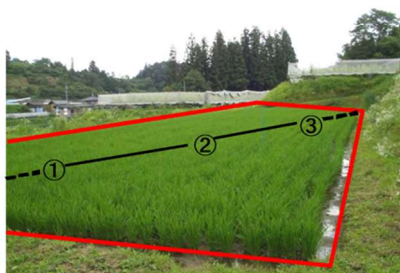
- 1 全国の全ての土地を200m四方（北海道は、400m四方）に区切って編成した単位区のうち、水田が含まれる単位区を調査母集団とし、その中から、無作為抽出法（人間の恣意を排したくじ引きのような選び方）により「標本単位区」を選んでいる。

標本単位区
（200m四方の土地）



- 2 標本単位区の中から無作為に1枚の水田ほ場を選び、「作況標本筆」としている。

作況標本筆
（全国で約8千筆）

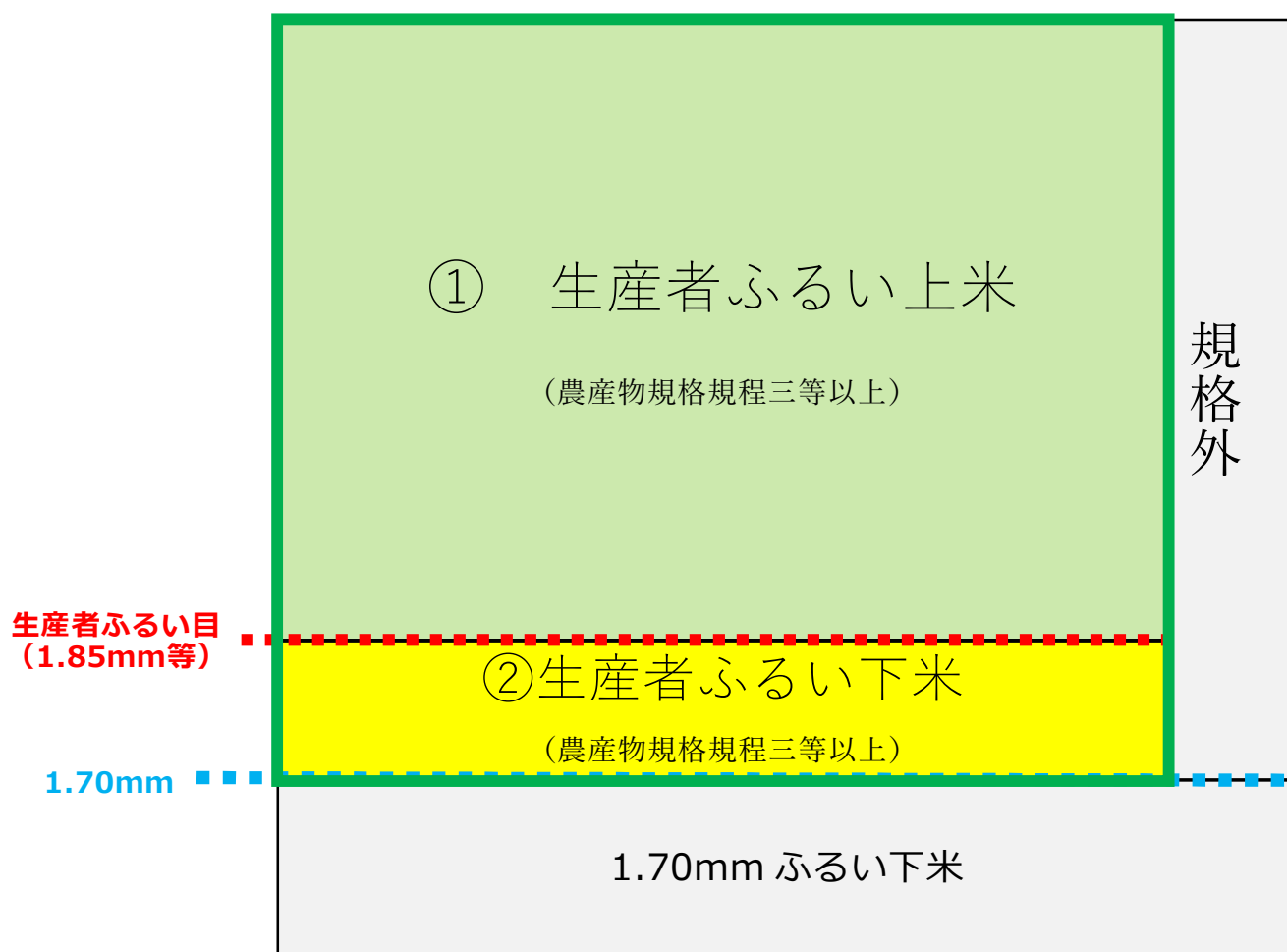


- 3 各作況標本筆の対角線上の3か所（①、②、③）を実測調査箇所として、調査箇所ごとに1㎡（合計3㎡）分のサンプル採取（坪刈り）を行っている。

【参考 4】

水稻収穫量調査の収穫量イメージ

- ① 収穫量（生産者ふるい上米）は、都道府県ごとに最も使用されている生産者ふるい目（1.85、1.90mm 等）以上で農産物規格規程三等以上の収穫量を対象としている。
- ② 収穫量（生産者ふるい下米）は、ふるい目幅 1.70mm 以上、農産物規格規程三等以上で生産者ふるい目幅未満の収穫量を対象としている。
- ③ 収穫量（生産者ふるい下米含む）は、①と②をあわせた収穫量（緑枠）を対象としている。



【統計表】

<https://www.maff.go.jp/kyusyu/press/toukei/251010.html>

【調査の概要】

・面積調査

<https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/menseki/gaiyou/>

・作況調査（水陸稲、麦類、大豆、そば、かんしょ、飼料作物、工芸農作物）

https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou_kome/gaiyou/

【水稻調査結果の主な利活用】

- ・ 主要食糧の需給及び価格の安定に関する法律（平成6年法律第113号）に基づき毎年定めることとされている米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針の策定のための資料
- ・ 「食料・農業・農村基本計画」における品目ごとの生産量や作付面積等のKPIの設定及び検証のための資料
- ・ 米・畑作物の収入減少影響緩和対策（ナラシ対策）の交付金算定のための資料
- ・ 農業保険法（昭和22年法律第185号）に基づく農作物共済事業の適切な運営のための資料

【ホームページ掲載案内】

- ・ 九州の各種農林水産統計調査結果は、九州農政局ホームページの「統計情報」で御覧いただけます。

<https://www.maff.go.jp/kyusyu/toukei>



- ・ 全国の調査結果は、農林水産省ホームページの統計情報に掲載している分野別分類「作付面積・生産量、家畜の頭数など」、品目別分類「米」の「作況調査（水陸稲、麦類、大豆、そば、かんしょ、飼料作物、工芸農作物）」で御覧いただけます。

https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou_kome/#y3



- ・ 本資料のうち、作付面積は概数値であり、確定した詳細な数値は、ホームページに掲載（令和8年2月予定）します。
- ・ 次回（10月25日現在）の公表は、令和7年11月中旬の予定です。
- ・ 公表した数値の正誤情報は、ホームページでお知らせします。

【関連リンク】

- ・ 農業生産振興関係ページ：農林水産省＞組織別から探す＞農産局
- <https://www.maff.go.jp/j/nousan/>
- ・ 病害虫に関する情報：農林水産省＞組織別から探す＞消費・安全局＞病害虫の防除に関する情報

<https://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/gaicyu/>

※ 上記リンクでは、病害虫の防除に関する情報として、総合防除の推進や発生予防事業による病害虫の発生予測等について掲載しています。

なお、「植物防疫年報」として公開している病害虫の発生面積は病害虫の発生予測の参考として調査を行っているもので、農作物の作付面積、収量等の調査を行っている作物統計調査とは調査目的や調査方法等が異なります。

- ・ 気象庁
<https://www.jma.go.jp/jma/index.html>
- ・ 各都道府県の生育状況等：米ネット（公益社団法人米穀安定供給確保支援機構）> 水稲の生育状況・技術情報リンク集
<https://www.komenet.jp/linkshuu/suitolink>

お問合せ先

◎本統計調査結果について

九州農政局 統計部 生産流通消費統計課

面 積 電話：（直通）096-300-6575（生産統計第1係長）

収穫量 電話：（直通）096-300-6576（統計専門官）

九州農政局 福岡県拠点 統計担当

電話：（直通）092-281-8262

九州農政局 佐賀県拠点 統計担当

電話：（直通）0952-26-4138

九州農政局 長崎県拠点 統計担当

電話：（直通）095-845-6227

九州農政局 統計部 統計調査担当

電話：（直通）096-300-6583

九州農政局 大分県拠点 統計担当

電話：（直通）097-532-6177

九州農政局 宮崎県拠点 統計担当

電話：（直通）0985-24-2373

九州農政局 鹿児島県拠点 統計担当

電話：（直通）099-222-7583

◎農林水産統計全般について

九州農政局 統計部 統計企画課（企画係長）

電話：（直通）096-300-6540



政府統計

政府統計の総合窓口
(e-Stat)

<https://www.e-stat.go.jp/>



SAFF

データの力で。
農林水産統計
Statistics of Agriculture,
Forestry and Fisheries